



世界に希望を生み出そう

TAKEFU WEEKLY

Rotary



創立/1954年(昭和29年)6月30日
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内
TEL. 0778-23-5210・FAX. 0778-22-2333 E-mail:takefur@es.ttn.ne.jp

例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館
会長/宮本 俊 幹事/橋本 勝利
会報委員長/鎌谷 孝之

第3290回 例会記録 令和6年5月28日(火)

本日出席会員 30名

メイクアップ(前々回) 2名

出席率(前々回補正) 88.89%

ロータリーソング「それでこそロータリー」

会長挨拶(代理) 直直前会長 野田 義弘



親睦活動委員会の石塚君が、本日を持ちまして退会することになっております。皆さんびっくりやと思うのですが、家庭の事情で、お父さんのお手伝いをするということで、ケーブルテレビを辞めて、実家の方でお手伝いをするということで、本日を持ちまして退会ということになったのですが、悲しいかな嬉しいかな、本日、炉辺会合の発表者となっております。トップバッターで発表してもらいますが、今日、もう本当に今日が最後ってということで、最後のラストで、炉辺会合プラスロータリーの、短いロータリーの思い出、またロータリーのいいところ悪いところ全て言っていただいて退会を迎えていただきたいと思います。よろしくお祈りします。さて、私事ですが、先日、和歌山に大学の同級生と麻雀をしに行っていました。観光もせないかということで、紀州のドンファンのおうちを見に行こうって

いうことで、どんなに豪邸かなと思ったんですけど、本当に団地やね。細い道の団地の急な坂のところにあって、テレビで見るとようなあんな豪邸感は全然ない。あれだけ金持ちやったのに、なんでもっと家とかに金かけんかったのかなという感じでした。ここ観光地になっているのかって聞いたたら、全然なっていないということでした。楽しい思い出でした。サンダーバードに乗ってきたのですが、いつもなら朝の便だと満席状態なのですが、行きもガラガラ、帰りもガラガラで、新幹線のおかげで関西方面が、ちょっと途絶えたのではないかなという気がした1日でした。ということで、本日の会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

プログラム

炉辺会合報告

テーマ「継続事業に期待すること」

【1班】日時：5月16日18:00～ 場所：うおとめ
責任者：内藤義介 発表者：石塚喜章
参加者：竹内紀昭、野田義弘、河嶋 一、橋本勝利
西本久美子、谷尾準一



始めに、これまで行ってきた継続事業はどうであったかということで、①パラダイス会への支援事業 ②公園等における清掃活動の2つについて、以下のような意見がありました。

①パラダイス会への支援事業について

・支援の内容は非常に良く、2年継続して支援を行ったことで、中途半端な形ではなく、支援事業の完成形として仕上げる事ができた。

・一方で、1団体のみを継続して行うのではなくて、他の団体からも、なにか困っていることはないかなど、幅広く支援団体を募っていく形で行うことも必要ではないか。

・支援が終わった団体さんに対しては、例えば、パラダイス会とは、収穫祭を一緒に行うなど、支援という形ではなく、交流という形で継続していき、これからも関係を深めていくと良いのではないか。

②白崎公園や吉野瀬川での清掃活動について

・継続事業として良い事業。会員も生き活きと清掃を行っていて、親睦も図れる。

・今後は、例えば「街をきれいにしていく活動」など、継続的に続けていきやすい事業名を作って、毎年場所を変えながら、街のいたるところの清掃を行っていくと良いのでは。

・一方、あちこち場所を変えてやるより、場所を固定して継続していく方が、アピール効果が高いのではないか。

・過去の太陽の広場の整備について、単発的だと、あとがほったらかしになってしまうこともあり、施設整備などは継続して支援を行っていくことで、より良いものに仕上がるのではないか。

・そして、終わった後は、懇親会を開催するなど、お楽しみを用意することで、会員が参加しやすく、親睦も深まる。

以上、大きく2つの事業について意見が交わされましたが、1班のまとめとして継続事業に期待することは、継続事業がロータリークラブ活動の柱になってくれること。言い方変えると、柱となるような継続事業をつくりましょう。柱があると、効率的に活動が展開でき、また外部へアピールしやすい。そして、実施した事業については、毎年結果を検証して、見直すところは見直して、さらに良い事業へと発展させていきましょう。

【2班】日時：5月22日18:00～ 場所：魚ほか
責任者：玉村一男 発表者：前田武彦
参加者：河合敏一、宇野晃成、山口和弘



私たち武生ロータリークラブでは、単年度制が基本的な活動方針とされているなか、継続事業の必要性を昨今問われてきました。

ここ数年ではパラダイス事業への参加など市内団体

へ寄り添った活動を行ってきたわけですがあらためて、今後必要な活動などを意見交換しました。

まず初めに過去の活動を振り返りました。

先ほどのパラダイス事業への参画や、時計寄付事業など、地域に求められる多くの歴史を共有しました。

その後、継続とならなかった事業を共有しました。

その中で、市内高校への支援事業のお話へとなり、あらためて、ロータリークラブとして地域との連携並びに繋がりを持つことの重要性について必要不可欠という共感を共有させて頂きました。

おもな支援事業としましては、キャリア教育事業などが継続する必要性があるとなりました。私たち会員も、市内に事業所を構える一企業として、その認知度向上にも繋がると考えられます。ロータリークラブ理念にあります職業奉仕の観点からも自企業を通じた奉仕にも繋がると思われます。

昨今、クラブにおける会員拡大などのお話もありますが、やはりこれらの課題に関しましても同様に地域との連携やつながりが課題解決への一歩となります。今後、地域団体との交流や意見交換、並びに市内高校との交流など積極的なアウトブランディングの必要性を感じた今回の炉辺会合でした。

【3班】日時：5月14日18:00～ 場所：鎌仁別荘
責任者：三村昌之 発表者：鷲田文枝
参加者：宮本 俊、宮前貴司、市川隆成
小泉義廣、岡田与士正



最初から白熱した討論になりました。

財団のからみもあり単発でなければいけないこともある。コストがかからない清掃奉仕とかはメディア向けにも良いので継続事業としてやると良い。

ロータリー会員だけでなく青年部とかの組織がある所と合同でやったりして色んな団体を巻き込んで継続にもっていくと良いのではないか。地域の交流や地域貢献にもなっていく。

継続した事業は次年度の会長の意向が繁栄できない

ので会長を早め早めに三代後までを決めて3人で話し合いビジョンを描き3年計画でレベルアップ出来る継続事業にしたら良いのではないかと。

継続事業に期待する事とは、単発の事業や3年がかりの事業をやり、社会奉仕活動を続けてより良い地域貢献活動の向上になることだと思いました。

【4班】日時：5月14日18:00～ 場所：うおとめ
責任者：奥村 忠 発表者：杉本正一
参加者：佐々木忠彦、井上常宏、矢尾主成、三田村久光
柿谷好彦、桶谷三枝子、土田康博



そもそも継続事業とは⇒原則単年度にて完結する事業を原則としてきたが、近年地区より継続事業を認める、あるいは推奨する流れとなってきた。

一般的に行われる継続されている事業（奥村先生による資料）を挙げると、

*〇〇周年記念事業⇒5年から10年括りでそれぞれの年度において記念事業を実施。

主に行政に対しての寄贈行為がほとんどであるが、60周年記念のネパールにおける屋根修繕事業や、中壠扶輪社とのグローバル補助金事業などは特殊な事例。

*講演会事業⇒時の著名人、時には皇室（H16.4.4寛仁親王殿下）まで絡めた講演会を開催している。対象は市民一般。

*時計の寄贈事業⇒市内各所に時計を送ってきている、直近では昨年白崎公園。ロータリーは片面、ライオンズは両面時計。

武生RCにおける継続事業

*しくら賞⇒紫式部賞に続き市内団体としては初めて、1962年より武生ロータリークラブ賞にて、青少年向けにリーダーシップを啓蒙している。

*武生東高校、武生商業高校での課外事業⇒コロナ以降は中止されている。

*子ども食堂への援助・支援活動⇒2017年から約3年間で終了。団体を通しての支援の難しさを考えさせられる。本来であるならばもっと積極的に行わ

れてしかるべき事業との意見が多く出た。

*高校生の会社訪問支援、援助⇒2022年より武生東高校生向けプログラム。

*環境整備・清掃活動⇒昨年実施した白崎公園の時計寄贈前の清掃活動など。行政と相談しつつ、なるべく街中の公園などを清掃すべきではとの意見。継続事業において期待される効果は⇒まずは奉仕の機会の提供。次に組織の認知を高める、継続することにより市民からの認知を徐々に獲得できること。多くの方からこの市民からの認知ということがで、大きく期待されているということがうかがえた。

【5班】日時：5月13日18:00～ 場所：うおとめ
責任者：田中大成 発表者：鎌谷孝之
参加者：米岡房直、田中 茂、上野 巖、河合洋典



まず、田中座長から資料・・・過去の社会奉仕委員会の事業が出されました。

「みんなの食堂」「子ども学習支援事業(笹ネット)」（みんなの食堂）数年継続はした、ということ。今は続いていません。

意見)

地区の補助金の申請の期限がはやい！（4月初旬）間に合わない。

意見)

ロータリーは単年度制であるので、継続は難しい。

意見)

JCがそうだが、最初に携わった人（当時の委員長）がずっと構成員でいてやり続けている場合がある…しかし結局、その後のフォローはしていない。

当時の担当者任せ。結局時間とともに忘れる…単年度制であるがゆえに消えていく。続かない！ということになる。

先ほど述べましたが、最初に携わった人がずっとやり続けて、そのままその団体の長になったりする場合もまれにある。

携わった人がそのまましているのが現状、しりつばみに陥りやすい。

継続事業は単年度制のため、継続は難しいが、今年

の（会長幹事研修会）で、地区の方から、「3か年の事業」を考えてくださいという宿題がでたそうです。単年度しか財団の補助金もらえなかったのが、3か年の計画に対してもおこる？とのことで、

今後は継続事業を期待するというか、そういう事業を考えなくてはならない環境になっていく。
 どんな事業があるのか・・・
 冠つけている事業・・・スポーツ（サッカー）は毎年できるのではないか・・・

以前やっていた事業・・・
 高校（模擬面接事業）
 ・・・・継続事業。2次面接を担当していた・・・
 商業高校での授業の先生になっていた・・・

武生ロータリーでいまも続いているのが
 ・東高校企業訪問
 ・しくら賞

これは大事にすべきかと思います。

いますので、またこれから武生ロータリークラブさんの活動を本当に楽しみにしたいと思っています。皆さんも、今後のご活躍とご健康、それを祈念いたしまして、簡単ですけど挨拶とさせてもらおうと思います。短い間だったのですが、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



今後も頑張ってください！！

報告事項

本日で石塚会員が退会されるということで、サプライズで退会挨拶をすることになりました。



私昨年9月から、本当に数ヶ月という短い時間だったのですが、思い出をとというような話で…やっぱり何の縁かあれですけど、本当に縁があって、入会させてもらって、入らないと皆さんとお会いすることもなかったし、やっぱり1番の思い出は、こうやって皆さんと出会えたことだと思います。

この短い間でも、パラダイス会の事業、参加させてもらいました、また、70周年という記念事業に、偶然のタイミングで、参加できたのが、非常に嬉しいなと思いました。私、退会はするのですが、地元に

報告事項（会議参加報告）

去る4月27日（土）、京都国際会館にて国際ロータリー第2650地区、地区研修・協議会が開催されました。次年度を担う皆さんお疲れさまでした！！



ニコニコ箱・・・20,000円 累計 1,630,840円

- ・炉辺会合代理で発表します。 【奥村 忠】
- ・炉辺の報告よろしくお願ひいたします。
 【橋本勝利】【山口和弘】【谷尾準一】【田中 茂】
- ・炉辺会合発表をします。よろしくお願ひいたします。
 【鎌谷孝之】
- ・北海道も雨が続いています。種まきに行って、20日位経ちましたが、本格的な種まきは6月に入ってからです。
 【桶谷三枝子】
- ・早退します。申し訳ございません。 【河合洋典】
- ・鷲田さん発表を楽しみにしています。【岡田与士正】
- ・炉辺会合残金です。 【炉辺会合2班】

本日(6月4日)の例会 第一例会行事 RYLA 受講報告 田中建設(株) 鷲田璃果氏	6月11日 創立70周年 事業報告	6月18日→24日 最終例会 18:30～ コートヤード・バイ・マリオット福井	6月25日 休会
---	-------------------------	---	-------------